

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 山口電設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		就業規則にて策定及び周知を行っている。								8	9										17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令違反に対し、企業活動の制限や公的補助金の申請等が不可となることなど、法令遵守に対する教育を行っている。																		16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		見積依頼は最低2社以上とし、取引の公正を図っている。															10				16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		各体制責任者を任命し管理している。 公害などの防止:総括安全衛生管理者/安全衛生推進者等、交通事故防止:安全運転管理者/車両管理者等、建設副産物対策:産業廃棄物管理責任者等																			16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		守秘義務誓約等の書面をかわし、社内PCにはHDD暗号化等を施すなど、情報保護対策を行っている。								8.2 8.3	9											
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		サーバーPCにのみパスワードを保管している。 紙媒体の物は、施錠された所定の場所に保管している。																			16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		取引先等と汚染・資源確保に対する「グリーン購入」の促進等、SDGsに向けたサプライチェーンの取組みの管理で弊社の立ち位置を確認し、適切化を行っている。																		16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9			11			13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		現社員への継承を行いつつ、外部からのスカウトを検討するなど、事業承継に関する検討・対策を行っている。									8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		原産地、取引価格等が公正であるかに配慮し、商品を調達している。 社内で提供するコーヒー等は、フェアトレード認証商品としている。	1	2			5				8					12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		就業規則にて策定及び周知を行っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		安全衛生会議を月1回開催し、最新の情報やヒヤリハット事例の共有等で安全衛生意識の向上を図っている。			3					8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		当社には正社員しかいないため、雇用形態による区別は現状存在していない。					5.5			8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		年5日の有給取得を絶対条件とし、さらなる有給休暇取得推進に向けて、業務工程管理の充実等に注力している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		公的資格/技能講習/特別教育等取得に向け、各人取得計画を策定し進めている。				4	5.5			8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		なかなかコミュニケーションが取りにくい中、コロナ慰労金等支給により少しでもストレス解消が出来るよう進めている。			3					8											17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		建設業の3K(キタナイ/キツイ/ケン)を払拭し、すべての人が働ける環境となるべく、事務所等の改善(内装リフォーム等)を行っている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		都道府県をまたぐ会議は全てウェブ会議としている。			3					8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●											8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4				8	9			12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 山口電設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		ゴミの分別収集及び産廃処理手順等を定め運用している。 また、排出ゴミを極力削減するように教育している。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		太陽光発電を屋根上に設置して、発電量と使用量の比較がモニター管理できるシステムとなっているため、削減に対する意識の向上ができています。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを用いてCO2排出量の把握を行っている。 太陽光発電の設置によりCO2排出の抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4		13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		駐車場への除草剤散布をやめて、天然素材の雑草防止地盤へ改良することで、環境に与える負荷を低減している。					6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		有価物の分別に力を入れている。 紙/段ボール/プラスチック/金属類など細分化して収集している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		駐車場の舗装をアスファルトではなく砕石敷きとすることで、水資源の確保を図っている。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		作業服はカーボンオフセット証明マーク付きとし、コピー用紙は再生紙を使用等、環境に配慮した製品選定としている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●								6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●													11.6 11.7			13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		太陽光発電を屋根上に設置して、発電量及び使用量の比較がモニター管理できるシステムとなっているため、削減に対する意識の向上ができています。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		エコバック活用の推進のため、社有車へゴミ箱を設置して慣習であったレジ袋のゴミ箱化を無くしている。												12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		低燃費車(電気自動車等)への入れ替えを推進している。(現状プラグインハイブリッド車1台、低燃費車1台を導入済み)									9.4		11.2			13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2

